

持続可能な農業へ 市内で初めて 東京都GAP認証を取得！

3月27日、武蔵野市農業委員会会長の榎本一宏さんが、市内に畑を持つ生産者として市内で初めて「東京都GAP」認証を取得しました。



「東京都GAP認証」とは？

GAPは「Good Agricultural Practice(良い農業を実践)」の略称です。作物の安全性はもちろん、環境保全や労働安全の面でも優れ、持続可能性が高い農業生産工程管理に対して認められます。

東京都GAP認証の取得には88件の点検項目を中心に、専門家による点検、指導、改善のプロセスを繰り返さなければなりません。同認証の取得者は現在、榎本さんを含め都内に22経営体しかなく、審査の厳しさ、指導にええ続ける取り組みの大変さがうかがわれます。

地域の子もたちとコマツナを収穫する榎本一宏さん。コマツナのほかに四季折々のさまざまな野菜を栽培。減農薬ながら病害虫の影響を最小限に抑え、安全でおいしい野菜づくりを心掛けています。

認証取得から見る市内農業3つのポイント

1 市内農業をもっと豊かに

武蔵野市農業委員会会長でもある榎本さんがGAP認証を受け、そのノウハウを広めていくことで、市内の農業全体がさらに高品質かつ安全・安心で持続可能なものになっていくことが期待されます。

2 食でオリンピックを支えるかも？

認証取得者は、東京2020大会への出荷が可能になります。今後は、日本にきた世界のアスリートたちの食生活を市内産農作物が支えるということもあり得るかもしれません。

3 農地がもっと不可欠な存在に

農地の持つ防災や環境保全、食育などの多面的機能を高めることも、都がGAP認証を推進する理由の1つ。農地は市民の生活において、ますます欠かせないものになっていきます。

認証をきっかけに市内産を身近に

これまででも市内の学校給食に作物を届け続け、作物の安全性、味には自信がありましたが、認証を機に、皆さんの武蔵野市農業への関心が高まればと願っています。ぜひ、市内産のおいしい作物を味わい、日々の食卓にも加えてみてください。



榎本一宏さん 榎本一史さん



市内産の安全・安心で新鮮な野菜はJA武蔵野新鮮館(西久保1-18-10 / Tel. 0422-54-7150)や市内の各直売所でお買い求めください。詳細は上の2次元コードをご参照ください。